

実りの秋 体験することで大きく伸びゆく子を目指して

校長

日による気温差が激しく、朝晩が肌寒くなったせいでしょうか。3週間続けて月曜日に特定のクラスで欠席者が増える、という状況が続いております。4・5年前まで指導していた「密を避ける」指導を現在していませんので、子供たちは、自然と友達と密になり過ごしています。そのため、特定のクラスで欠席者が増えてしまうこともある程度は仕方がないことだと思っています。しかし、感染症に細心の注意を払わなくてはならない季節がやってきましたので、子供たちには、改めて手洗い、うがい、必要に応じたマスクの着用、そして教室の換気を心がけるよう指導していきます。ご家庭におかれましても、引き続き丁寧な健康観察をしていただき、子供たちが学校で元気に過ごせますよう、ご協力をお願いいたします。

さて、後期が始まり3週間が過ぎ、学年毎に様々な行事が行われています。1年生は秋を探したり、友達との関わりを深めたりするために公園探検に、2年生は磯辺の町に関心を持ち、町の人と関わることを通して町のよさを見つけるためにまち探検に、3年生は働く人々の仕事の裏側や工夫を見つけるためにスーパーマーケットの見学に行ってきました。また、4年生は市役所の廃棄物処理課の方とごみ分別スクールで地域の生活を支える仕組みなどについて学び、5年生は千葉ホークスのパラアスリートの方との学習を通して、多様な生き方や価値観に触れ、共生社会について考える機会をもちました。そして6年生は、県内5つの企業の方にそれぞれの仕事内容や仕事に向き合う姿勢などについてお話していただくことで、働くこと・生きることの意味や将来の夢や目標について考えるきっかけづくりを行いました。

磯辺小学校では、体験活動に力を入れていくと、学校説明会でもお話しさせていただいていますが、「それは点数につながるものではないですね。」という声を耳にすることがあります。確かに、ドリルや漢字学習のように点数として表れないこのような体験活動は、効率的な学びではないかもしれません。しかし、子供たちは、これらの体験を通して、心を動かされ、自分の言葉で考えたことを表現する力を育んでいます。また、体験したことを一人、またはグループでまとめていくことで、やり抜く力や協働的に学ぶ力を育む機会をもてています。そして、これらの力は、将来生きていく上で大切な学びの土台につながる力です。ぜひ、長い目で磯辺小学校が力を入れているこれらの教育活動を見守っていただけますと嬉しく思います。

そして、このような教育活動ができますのは、地域と保護者の皆様のご協力のおかげです。今回に限らず、いつも多くの皆様のご理解とご協力の上に、磯辺小学校の教育活動の充実が成り立っています。ありがとうございます。

さて、実りの秋も終盤ですが、11月も多くの教育活動が展開されます。まずは、本日、6日に6年生の代表の子供たちが、第61回千葉市小学校陸上大会に参加してきます。子供たちは、自分の目標に向かって一生懸命に練習してきました。今日の結果には、もちろん期待しています。しかし、選手になった児童も、ならなかった児童も、ここに至るまでにあきらめずに練習し、記録を伸ばす努力をしてきました。この経験を通して学んだことは全ての子供たちの中に確かな力として培われた小学生の子供たちにとっては、結果よりも大切なことです。そのうえで、選手の皆さんには、自己ベストを更新することを目標に頑張ってきてほしいと思います。私も精いっぱい応援してきます。

11月に行われる各学年の学習活動が子供たちにとって意味ある学習になるよう、指導していきます。教科書を使った学びはもちろん大切にしていますが、教科書に答えが書かれていない学び—体験—も大切にして、子供たちの力が大きく伸びていくよう指導していきます。

今月も地域・保護者の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

